

第6学年1・2・3組学級活動（3）学習指導案

指導者 上野 純
藤原 涼太郎
水谷 造

1 題材名 「最高学年としてがんばりたいことを決めよう」

学級活動（3）ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる態度の育成

2 活動のねらい

- 6年生の学習や生活を知り、個人のめあてを設定し、生活への希望がもてるようにする。
- 一人一人が思い描く「最高学年」を目指すために「自分の頑張りたいこと」を決める。

3 評価規準

① よりよい生活を築くための知識・技能	② 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	③ 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年として学校生活を送るための見通しをもち、健全な生活を送ったり、自己実現を図ったりするために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を送る上での課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定し、実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生の学校生活を見通し、よりよく生きるために、自分に合った具体的で実現可能な目標を立て、目標達成のために主体的に行動しようとしている。

4 指導計画

時	主な学習活動	授業改善のポイント
事前	○始業式の日「こんな学級にしたい」という願いを児童・保護者が書くワークシートを配布する。	
1	○自己紹介をして、友達のことを知る。 ○一人一人の「こんな学級にしたい」を聞く。 ○教師の「こんな学級にしたい」	
2 (本時)	○「どんな6年生になりたいか」を考え、そのためにできること、取り組むことを決める。 【学級活動（3）】 ○これまでの自分を振り返る。 ○6年生の学校生活の見通しをもつ。 ○「どんな6年生になりたいか」を考える。 ○どのような行動をすれば実現できるかアイデアを出し合う。 ○「自分のがんばりたいこと」を意思決定する。	  
事後	○自分のめあてを実践する。 ○実践したことの振り返りをする。	

1 / 2 時間目

本時の
目標

・友達のことや学級への思い、教師のこんな学級にしたいという願いについて理解し、自分の感想をもつことができる。

本時の
評価

・友達のことや学級への思い、教師のこんな学級にしたいという願いについて理解し、自分の感想をもつことができたか。

6年生のスタート！おたがいのことを知ろう！

☆自己しょうかい☆

- ① 名前
- ② 誕生日
- ③ 好きな○○
- ④ クラスのみんなへの一言

「6年○組をこんな学級にしたい」を
発表し合おう！

【上手な話し方】

- ・相手に伝わる声の大きさ
→ 声のものさしは、「3」
- ・はきはき、ていねいに話す。

【上手な聞き方】

- ・話す人に「正対」する。（体も心も）
- ・発表が終わったら、心を込めてはく手をしよう。

先生が考える「6年○組をこんな学級にしたい」

先生の「こんな学級にしたい」をパワーポイントのスライドにして、提示する。

授業改善のポイント



興味や関心を高める

自己紹介や、友達・先生の「こんな学級にしたい」を聞くことで、これから始まる学級生活に期待を高める。

①つかむ

- 自己紹介をする。
・紹介する内容を提示する。
- 「どんな学級にしたいか」自分の考えを発表することを知る。
・事前に行ったものを発表することを伝える。

②学び合う

- 「こんなクラスにしたい」を発表し合う。
・友達の思いをしっかり聞くことを助言する。
- 「どんな学級にしていきたいか」という教師の願いを知る。
・教師の願いを児童に伝わりやすい言葉や具体的な姿を示しながら伝える。

③まとめる

- 学習感想を発表する。
・友達や先生の話聞いて、どんなことを感じたか、考えたかを発表させる。

④振り返る

- 教師の話聞く。
・児童の思い、保護者の思い、先生の思いを生かしながら学級の目標を決めることを伝える。

2 / 2 時間目

本時の
目 標

・「どんな最高学年にしたいか」を考え、自分が取り組むことを意思決定することができる。

本時の
評 価

・「どんな最高学年にしたいか」を考え、自分が取り組むことを意思決定することができたか。

「最高学年」としてがんばりたいことを決めよう！

○これまでの自分たちの歩み

学級のおゆみを提示

○自分たち・保護者・先生の思い

パワーポイントにまとめたものを提示

○最高学年として過ごす1年間

6年生の1年がわかる写真などをパワーポイントで提示

○「最高学年って、どういうイメージ？」

・信らいされる ・尊敬される
・お手本になれる

○「どんな最高学年になりたいか」

「○○○～最高学年」になりたい【理由】

○書いたものを達成するために、「何をすればよいか」考えよう

・自分の考えを書く。(黄色の付せん)
・付せんを使って友達の考えにアイデアを出し合う。(ピンクの付せん)
☆回数 ☆時間 ☆場所など

有馬小最高学年宣言！



「○○○～最高学年」になる！
そのために
「○○○○」をがんばります！

授業改善のポイント



見通しをもって粘り強く取り組む

児童・保護者・担任の思い、最高学年として過ごす1年間の様子を知ること、本時の話し合い活動に取り組めるようにする。



互いの考えを比較する

自分と友達の考えを比較することで、よりよい解決方法を出し合うことができるようにする。



自分の思いや考えを結び付け、考えを形成する

集まったアイデアをもとにして自分の頑張りたいことを意思決定できるようにする。

①つかむ

- これまでの学校生活を振り返る。
- ・6年生になって今日までのことを学級の歩みなどで振り返る。
- 自分たち、保護者、担任の学級の思いを知る。
- ・始業式に児童と保護者が書いたもの、学級開きで担任が伝えたものをパワーポイントで提示する。

ICT

②考える

- 最高学年としての学校生活について知り、「どんな最高学年になりたいか」を考え、ワークシートに書く。
- ・「最高学年」に対するイメージを出し合い、全体で共有する。
- ・様々な思いや願いを参考にさせる。
- ・具体的な姿や理由まで書くように声を掛ける。

③学び合う

- 友達の考えた「どんな最高学年になりたいか」について、実現するためのアイデアを出し合う。
- 自分のアイデアを書く。(黄色の付箋)
- 友達のアイデアに自分のアイデアを書く。(ピンクの付箋)
- ・具体的なアイデアを出せるよう視点や意識するべきことを伝える。

④まとめる

- 友達からもらった付箋を分類、整理する。
- 自分が頑張ることを「有馬小最高学年宣言」として意思決定する。
- 「有馬小最高学年宣言」を発表する。ICT
- ・ワークシートに書かせる。
- ・発表のときには、児童のワークシートを撮影して掲示する。

⑤振り返る

- 教師の話を聞く。
- ・決めたことを達成できるように毎日取り組むことへの意欲付けをする。

6年生 学級活動（3） 「最高学年」としてがんばりたいことを決めよう！

6年 組（ ）

○「どんな最高学年になりたいか」を書こう。

最高学年になりたい！
【理由】

○友達考えた「どんな最高学年になりたいか」について、ふせんを使ってアドバイスをし合おう。

★有馬小最高学年宣言★

最高学年になる！

そのために

を頑張ります！



毎日、実践をしてふり返りましょう！！！！



4月21日	4月22日	4月23日	4月26日	4月27日
1週間をふり返って				

4月28日	4月30日	5月6日	5月7日	5月10日
1週間をふり返って				

2週間を終えたふり返りを書きましょう。

--

有馬スタイル（学級活動 第6学年「最高学年としてがんばりたいことを決めよう」）

【資料Ⅱ】「児童・保護者の『6年1組』をこんなクラスにしたい！」と担任が学級開きで示した資料の一部

始業式の日プリントを配布して児童と保護者に記入をしてもらったものを打ち出して、教室に掲示をした。

「6年1組」をこんなクラスにしたい！ ～みんなのおもい～

- ・みんなと協力のたくさんできるクラスにしたい
- ・下級生とのつながりをもちたい
- ・メリハリをつけて行動する
- ・ルールを守れる
- ・他人の気持ちを考えられる
- ・下級生のお手本になれる
- ・信頼される6年生
- ・当たり前のことが当たり前に見える
- ・毎日クラスの全員が「楽しかった」と思って帰れる
- ・みんなで助け合う
- ・一人一人の個性をわかり合える
- ・仲良くする
- ・楽しく元気な明るいクラス
- ・自分たちからチャレンジする
- ・ポジティブで明るく元気なクラス
- ・だれかのために役に立てる
- ・みんなとの仲を深められる
- ・切磋琢磨し、互いを高め合えるようなクラス
- ・下級生に尊敬されたい
- ・みんなといろいろなことができるクラス
- ・明るく、友達同士仲良く過ごせるクラス
- ・みんなが明るく楽しく学校生活を送れるようなクラス
- ・努力や協力をすることができる
- ・一人一人が自分のことを考えて行動をすることができる
- ・素直さを忘れず、学校全体から頼られるクラス
- ・けんかのない、1年生のお手本になれるクラス
- ・1日1日を大切にできる

「6年1組」をこんなクラスにしたい！ ～おうちの人のおもい～

- ・「本気」を大切にすることができる
- ・お互いの長所やすごいところ、素敵な面をたくさん見つけ認め合える
- ・自分のことだけでなく、周りにも目を向けて行動する
- ・精一杯、楽しみ、全力で学び、遊ぶ、1年間にして悔いなく過ごしてほしい
- ・自分の意見や考えをもてる、他人の意見にも耳を傾けることができる
- ・下級生にも気を配り、リーダーシップを発揮して自分たちの力で楽しい学校生活を送る
- ・悔いのないように生活してほしい
- ・最後の1年間を仲間と共に楽しいたくさんさんの思い出を作してほしい
- ・健康で落ち着いた1年を送ることができる
- ・目の前のことに全力を尽くせる
- ・お手本になれる、下級生に憧れられる6年生
- ・自分自身を見つめ、自分も同級生も下級生も先生も同じように大切にできる
- ・自分らしく思いやりをもって過ごしてほしい
- ・「楽しかった」「よかった」と感じることができる
- ・1日1日が貴重な時間であることを感じ、何にでも積極的に参加できる
- ・何事にも諦めずにチャレンジできる
- ・一生懸命に取り組み、途中で投げ出さない
- ・自分自身のことだけでなく、友達のため、下級生のため、先生のために何かしたい気持ちを忘れない
- ・様々なことに積極的にチャレンジする
- ・あいさつや返事をしっかりし、冷めた態度ではない活気に満ちあふれたクラス
- ・有馬小学校で過ごす最後の1年が楽しい思い出に残るようなクラス
- ・笑顔がいっぱいの1年
- ・下級生からの憧れの存在でいられる



学級開きの際に、担任の「こんなクラスにしたい」をパワーポイントで提示しながら指導をした。(スライドの一部)

最高学年として、「自分」も「友達」も大切にできるクラス
～いつでも・どこでも・だれにでも～

当たり前前は 当たり前	自分ができることを 相手に対しても	自分の学びを クラスのために
<p>できて当たり前</p> <p>「人に正対する」 体で話をしっかり聴く子 拍手ができる子 整理整頓する子 反応ができる子</p>	<p>人として</p> <p>命を大切にできる子 自分を好きな子 仲間を大切にできる子</p>	<p>心</p> <p>自分から学ぶ子 楽しく学ぶ子</p>
<p>で 欲しい ように な って</p> <p>「心構え」 ごめんなさいと言える子 ありがとうと言える子 自分からあいさつする子 返事ができる子 自分ごととしてとらえる子</p>	<p>希望をもつ</p> <p>前向きな子 真面目に取り組める子 友達のために本気になれる子</p>	<p>技</p> <p>友達の学びを生かせる子 意見・考えを伝える子 学んだことを使える子</p>
<p>自分から、やってみよう！ ・毎日過ごす中で、できそうなことは、どんどんチャレンジ！</p>	<p>自分から、やってみよう！ ・人のために行動ができることは何よりも自分を成長させる！</p>	<p>体</p> <p>元気に登校する子 感謝して食べる子 運動する子</p>
		<p>生活</p> <p>ルールを守る子 優しくできる子 読書する子</p>
		<p>自分から、やってみよう！ ・学んだことを、次に生かす ・自分の学びをクラスへ還元する</p>

6年生としての
自分を成長させるキーワード

- ①「素直な心」を持続ける
- ②あいさつや返事は
自分から大きな声でする
- ③発言は
自信をもってどンドンする
- ④友達のステキなところを
「みとめ」、「ほめる」ことができる

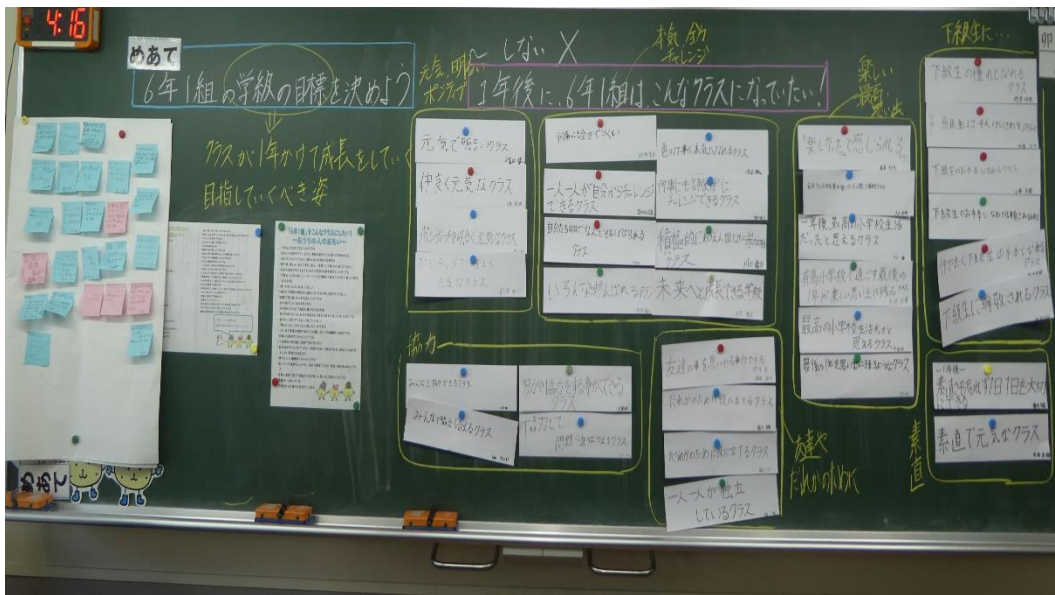
ない「怒」ポイント
上野先生が、心の底から許せない

- ①人によって態度を変える人
- ②がんばっている人をばかにしたりキズをつけたとき
- ③ウンをついたり
約束をやぶったりしたとき
- ④いじめ（暴力・暴言）

有馬スタイル（学級活動 第6学年「最高学年としてがんばりたいことを決めよう」）

【資料Ⅲ】学級の目標を決めるまで

- ①資料Ⅱを配布して子ども・保護者の思いを知る。
- ②子どもたちに短冊を配布して「6年1組をどんなクラスにしたいか」を書かせる。
- ③書いた短冊を同じ言葉や似た言葉同士でグルーピングする。
- ④お互いの書いた思いをもとに、どんな目標にしていくか子どもに考えさせる。
- ⑤子どもたちから出てきた文を参考に担任が学級の目標を決めた。



学級の目標は、1年間掛けて達成をしていけるように意識付けをさせる。学級会の提案理由に生かしたり、日頃や学期末などに達成度をふり返らせたりする。

6年1組□学級の目標

ポジティブ
Positive! ←

- ★下級生があこがれる、元気で明るい楽しいクラス ←
- ★どんなことにも、本気・全力・チャレンジできるクラス ←
- ★みんながみんなを思いやる、やさしい素直なクラス ←